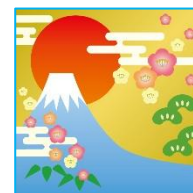


新年の言葉

NPO 法人目黒ユネスコ協会 会長 宮下 晶子



明けましておめでとうございます！

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか？ 昨年は、コロナに始まり、あれよあれよという間に終わった年でした。世界中の人々が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。欧米諸国に比べれば被害が少なかったものの、日本でも外出自粛などのために会いたい人にも会えず、もどかしく感じた人も多かったでしょう。東京オリンピックも開催が延期されましたが、目黒ユネスコ協会でも様々な企画がコロナウイルスのために中止となりました。

しかしそのような中で、目黒ユネスコの青年たちは頑張ってくれました。目黒区役所のエントランスホールでのピアノコンサート「ルンルンライブ」を企画し、実行したのです。目黒区長や教育長も参加してくださり、その様子をユーチ

ューブにアップ、視聴回数も 20000 回を超すなど、大成功でした。そしてそこで得たお金を最前線で頑張っておられる医療従事者に寄付することもできました。

頑張ったのは青年ばかりではありません。日本語教室でも Zoom を使って学習者からの授業継続要望に応えました。スタッフ皆さんの努力に感謝しています。

今年も新しい手法を取り入れ、皆さまと共に今まで以上に協力して歩んでいきたいと思っています。皆さまそれぞれに大変だとは思いますが、共に乗り越えていきましょう。

2021 年がどのようなになっていくのか。まだまだ分かりませんが、次世代の平和のために、若者たちにしっかりと引継げるようがんばりましょう。

【めぐるルンルン LIVE】YouTube 目黒ユネスコ協会 HP から視聴できます。[目黒ユネスコ協会](#)で検索

文化庁伝統文化親子教室助成事業 伝統文化としての折り紙の体験

2020 年 11 月 7 日～12 月 5 日 全 5 回 緑が丘文化会館 後援：目黒区教育委員会

講師：日本折紙協会公認講師 馬場園 愛恵 氏

昨年に引き続き、今年度の親子教室も馬場園先生にご指導いただき、楽しいひと時を過ごした。参加者は、小学校の1～3年生が多かったが、保護者と共に参加した幼稚園児も器用に指を動かしており、子ども達の優れた理解力と創造力に感心させられた。

題材は、1 回目：コスモスと赤トンボ、2 回目：熊手の装飾、3 回目：もみじの木にフクロウ、4 回目：クリスマス風景、そして、5 回目は、正月らしく富士山と松や笹などを折った。毎回、馬場園先生の細やかな説明で、どの子もしっかりと折り上げたパーツを色紙に貼って、自分なりの工夫を凝ら



した個性的な作品に仕上げ、“どこに飾ろうかな”とつぶやきながら、会場を後にしていた。

一枚の紙から美しい花や可愛い動物などを折りだせる「折り紙」の歴史は古く、庶民にも紙が手に入るようになった江戸時代から普及し、親しまれてきた。折り鶴や奴さんといった折り紙が浮世絵に残っている。趣味・教育・リハビリテーションの効果など様々な可能性をもった折り紙は、「作品」としても社会に認められるようになった。

今回、折り紙教室で出会った子ども達の折り紙に対する活用力・応用力を期待している。 理事 久富美智子



目次：会長挨拶・折り紙/1P

支援通信①書き損じハガキ・支援通信②ダルニー/2P

理数教室・支援通信③寺子屋/3P、お知らせ /4P

支援通信① 書きそんじハガキ回収キャンペーン

～ユネスコ世界寺子屋運動～



回収期間：2021年1月18日（月）～29日（金）

回収場所：五本木小学校内 目黒ユネスコ協会、事務局

目黒区施設・区立小中学校に設置する回収箱にお入れください。

♥ 皆様からの温かいお力添えをお待ちしております。

世界には、貧困や紛争、学校が近くにないなど様々な理由で、初等教育が受けられない子供が 5900 万人、読み書きのできない大人が 7 億 7300 万人もいます。日本ユネスコ協会連盟では、「世界寺子屋運動 書きそんじはがき回収キャンペーン」を実施して、世界の発展途上国（現在の対象国はカンボジア・アフガニスタン・ミャンマー・ネパール）の学校に行けない人々のために寺子屋を建設しています。寺子屋は、多くの人々の勉強のため職業訓練のため、そして地域の図書館や集会所などとして、多様

な役割を果たしています。

ご自宅に眠っている、書き損じたハガキはないでしょうか？皆様から提供していただいたハガキを郵便局で切手と交換して、世界に寺子屋を立てるための資金や寺子屋の運営費としています。この運動で、2019 年までに 535 件の寺子屋が建設されて、現地の皆様に喜んでいただいております。世界中の子供たちに笑顔が増えるよう、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

支援委員会 小村 恵子

支援通信②

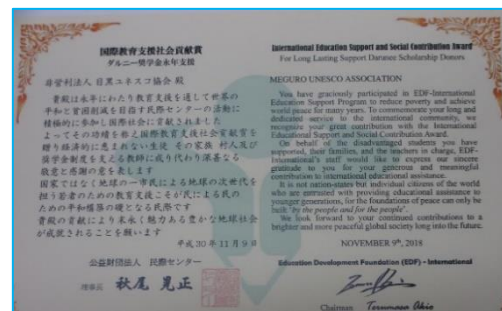
タイの子どもたちへの教育支援



TUN さん



PAN さん



国際教育支援社会貢献賞

目黒ユ協が、長年に亘って行ってきた支援の一つに、「ダルニー奨学金」がある。

1987 年に設立した「民際センター」の創立者は、タイの東北地方の村で経済的に貧しく中学校に就学できない現状を知り、教育支援により子ども達に就学の夢をかなえる団体を立ち上げた。そして、その村で親しくなった少女の名前をとって、「ダルニー奨学金」と名付けたという。「民」と「民」を結びつける国際貢献を「民際」と呼び、「民」の力による教育支援を通じて、国際交流・平和構築を目指している。2014年に公益財団法人に認定され、メコン地域5カ国（タイ、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナム）に事務所を開設し、奨学金、学校建設、教材支援、教師養成など教育に特化した支援を行っている。

昨年度、目黒ユ協は、民際センターから 20 年以上、支

援を続けてきた団体として、「国際教育支援社会貢献賞」を頂いている。

今年度、支援している生徒は、タイのローイエット県に住む2名で、二人とも同じ小中併設校（生徒総数 123 名）の中学 1 年生である。民際センターからは、学校名、生徒名、生年月日、身長・体重、両親・兄弟姉妹等の家庭環境も記された生徒の写真入りの証書が送られてくる。タイの中学校は 3 年制で、卒業まで継続することが多いが、諸事情で支援する生徒が代わることもある。いずれにしても、証書は毎年送られてくる。生徒宛に手紙を送ることも可能だ。日本語で書かれた文は、民際の事務所で現地語に訳し、本人に届く。直接会ってはいないが、里親になったような気分で、卒業まで、支援を続けようという思いが湧く。

支援委員会 久富 美智子

ユネスコ理数教室 プログラミングに挑戦しよう！

2020年11月15日(日) 14:00~16:00 目黒本町社会教育館

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO法人目黒ユネスコ協会

参加：小・中学生 20名 保護者：5名

講師：東京地下鉄株式会社海社会価値創造部 プログラボ目黒

昨年に引き続き、プログラボ目黒から岡室長やスタッフの皆さんを講師としてお招きし、ロボットプログラミングに挑戦した。新型コロナウイルス感染防止のため、受付では付き添いの保護者も含め全員に手指のアルコール消毒と検温、マスクの着用に協力してもらい、また座席も、十分に間隔をとるよう配慮した。

あらかじめ入力されたプログラムによって動く「自律型ロボット」についての説明のあと、一人につき1セットずつ用意されたレゴ社製の部品を使って、iPadに示される組み立て図を元に、「火星探査機」を組み立てていく。似たようなブロックの中から使う部品を正しく選んだり、部品同士を正しく組み合わせるのは、おもしろいが、注意力も必要な作業だと感じた。私も、欠席者の分を使わせていただき参加したが、途中、講師から「ここ、付ける位置が違っていませんか?」とご指摘を受けてしまった。一方、子どもたちは、助言を受けながら、15分ほどで組み立てることが出来ていた。「火星探査機」は、2つのモーターを備えており、これをiPadに入力したプロ



グラムで制御することで、進んだり、曲がったりすることができる。

画面のモーターを動かす指令のブロックに、回転の向きや強さ、回転数などの数値を入力する。1つのブロックが1つの指示を表し、このブロックをつなげていくことで、探査機は「きまった距離を進む」→「右に曲がる」など指示された動きをする。

床に置かれたボードには、地球、火星、土星が描かれ、ミッションは探査機を、地球から出発させて火星に到着させることである。初めのうちは行きすぎたり、障害物にぶつかったりしてうまくいかないが、数値やブロックの並べ方を工夫



し、何回も試行錯誤しながら、子供たちはミッション達成に近づいていった。火星に到着させることができた子供は、続いて土星到着へのチャレンジを行った。

子どもたちは、楽しみながらプログラミングのおもしろさに浸ることができたようだ。さらに深く広くプログラミングの世界を探究していくことを期待したい。 会員 岩佐 富雄

支援通信③ アフガニスタンに寺子屋 世界寺子屋運動



©日本ユネスコ協会連盟

★日本ユネスコ協会連盟 鴨志田様からのお便り

「世界寺子屋運動」に多大なご支援を賜りまして誠にありがとうございます。ご支援いただきましたアフガニスタンで新しい寺子屋が完成いたしましたので、報告書をお送りさせていただきます。10月5日に100名以上が集まった開所式典が開催され、今後は識字クラスや職業訓練クラスなどを通じて地域の人びとの生活向上を目指して活動が行われます。

【付記】アフガニスタンイスラム共和国 教育省識字局 バグラミ郡寺子屋 (CLC)。教育と平和をアフガニスタンでさらに進めるために、また日本との友好の絆を発展させるために 2020年に皆様のご支援によって建設されました。 ※詳細は目黒ユネスコ協会のHPで検索ください。

～新型コロナウイルス感染防止のための 企画中止および延期のお知らせ～

2020年12月東京都からの新型コロナ感染拡大防止のための外出等の自粛要請、次いで2021年1月8日の緊急事態宣言の発令に応じ、目黒ユネスコ協会では下記恒例事業を中止および延期いたします。

《中止》

- ・第33回目黒ユネスコ国際交流ひろば
文楽鑑賞教室（2020年12月7日・国立劇場）
- ・ユネスコ文化講座①②③
- ・目黒ユネスコ日本語教室2021冬期教室(1～3月)
- ・目黒ユネスコ新年会
- ・ユネスコ理数教室③（2021年1月24日）
「いつか見てみたい星空の特等席 世界のベスト3」
- ・ユネスコ美術教室（2021年2月12日～全5回）
「日本画の原点といわれる中国工筆画を学ぶ!!」

《延期》*1～2月の残り4回を3月に延期

- ・受託語学講座（日本語教育研修講座・初級英語講座）

《休講》*緊急事態宣言発令中の期間を休講の予定

- ・自主語学教室（フランス語・イタリア語・英語・韓国語・ドイツ語・スペイン語・中国語）

*事務局もしばらくの間、お休みいたします

また、その他の活動についても今後、中止あるいは延期になる場合もございます。

ご参加希望の皆さま並びに関係者の皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の上、ご了承ください。

最新情報は当協会のHPでご確認ください。

ご質問等は協会メールで受け付けます。

公式アドレス(協会メール) meguro@unesco.or.jp

【 お詫び 】

2020年11月中旬、目黒ユネスコ協会の公式アドレス(協会メール)において、メールの受信ができないという不具合が生じました。関係者の方々には大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ないことでしたが、お陰様で12月中旬には復旧いたしました。今後ともよろしく、公式アドレスをご利用ください。

【編集後記】 2020年は世界中がコロナ禍問題に明け暮れた1年でした。医療、経済など各方面が懸命の努力をされていますが、今後急速に終息するとは思えません。

目黒ユ協の活動の多くも中止、縮小などを余儀なくされました。その中にあるのも会員の皆様の努力工夫による新しい取り組みが見られました。

インターネットを活用した①青年の音楽活動「めぐるルン LIVE」や②オンライン日本語教室、又、その他にも各活動グループの創意工夫が新しい形を見出している。

コロナ医療チームへの支援募金について

皆様からお寄せいただいた募金 合計 160,000 円を東京都社会福祉保健局に寄付いたしました。皆様のご協力に心から感謝いたします。

■ 新入会員 どうぞよろしく！(敬称略)

孫 王小玲

■ 書きそんじハガキ回収キャンペーン ～ ユネスコ世界寺子屋運動 ～



期間:2021年1月18日(月)～1月29日(金)

回収した書きそんじハガキは、切手などに交換され、日本ユネスコ協会連盟を通じて世界寺子屋運動や発展途上国の識字教育のための寄付になります。

目黒区施設・区立小中学校に設置されている回収箱にお入れください。

皆様のご協力をお願いいたします。



©DENTSU INC.

活動日誌 11 月

- 自主語学教室 6 講座
(仏2・伊1・西1・英1・独1・韓1)
- ★ 11/7(土) 親子伝統文化教室(折り紙教室)5回
- 11/11(水) ショートニュース(No349)発送&連絡会
- ★ 11/15(日) ユネスコ理数教室①「プログラミング」
- ★ 12/20(日) ユネスコ理数教室②「重心・独楽(こま)」
- 12/20(日) ユネスコこどもまつり(無観客 YouTube 収録)
- 12/21(月)～2021.1/6(水) 事務局冬休み

2021年1月以降の予定

- ▲ 1/12(火) 日本語教室オンラインレッスン開始
- 1/18(月) 書きそんじハガキ回収キャンペーン開始
- 2/28(日) 都ユ連研修会

- 目黒ユネスコ協会主催
- 目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲ 目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★ 目黒区教育委員会からの受託事業

SN(ショートニュースの
発送&連絡会は
未定です



当協会HPも充実！
『目黒ユネスコ協会』で検索！
各種申込みもHPからどうぞ！

事務局の
スタッフによる対応は
お休みです。
再開はHPで
お知らせします

のではと感じています。ネット時代へ移行しつつあり、近い将来ショートニュースもホームページが主流になるでしょう。コロナがきっかけとなりこの傾向は案外早く、今年中にも加速されそうな気がしています。

目黒ユ協は今年も地についた活動を続けて行くでしょうし、私も時代に遅れることなく学習しなければと思います。

清水 嘉男